

事業番号	393
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧山文化事業					担当部	教育委員会事務局			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般	担当課	文化振興課			
	事業期間	平成17年度		～	平成30年度以降		担当係	文化振興係			
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		15 文化振興		1 市民が文化芸術に親しめる機会を充実します				
		副目的	15-2		18-1						
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	3	中	11
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	小牧山史跡公園の整備と市制50周年を記念して実施した薪能を継続的に開催し、史跡小牧山を広く市内外にPRするとともに、伝統芸能の素晴らしさや楽しみ方を市民に味わっていただくことにより、小牧のシンボルである小牧山を文化の発信拠点とする。									
	内容 (手段)	<p>○25年度実施内容 小牧山薪能(薪能開催委託料 7,867千円) 能楽協会名古屋支部の出演による薪能を実施。伝統芸能をより楽しんでいただくための展示・体験コーナーを設置。オープニングセレモニーとして小牧市謡曲連盟や名古屋市立名東高校能楽研究部による仕舞等で盛り上げ、気楽に楽しめる機会を提供。 職員は ①能楽協会名古屋支部との演目・出演者調整を行い、プログラム・番組表を作成する。 ②事前PR活動を行う。 ③舞台・客席の設営手配を行う。 ④出演者等の手配、協力ボランティアへの依頼等、タイムスケジュール管理を行う。 ⑤実行委員会を開催し、イベントとしての市民参画を促進する。 ⑥音声ガイドの申込受付を行う。 平成25年度 9月21日 史跡小牧山 約9,000人の観客 こまき信長まつりの一環として開催 ・備品購入費(147千円)</p> <p>○26年度実施内容(8,480千円) 25年度と同様に実施するが、「こまき信長お月見まつり」の一環として開催する。</p>									
	受益者負担	有 ラジオガイドスレンタル料 43台×500円=21,500円									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	7,923	7,996	8,014	8,480	
		正職員	従事者数	人	0.25	0.25	0.25	0.25
			人件費	千円	1,315	1,315	1,315	1,315
		その他職員	従事者数	人	0.02	0.02	0.02	0.02
			人件費	千円	32	34	28	31
		費用合計	千円	9,270	9,345	9,357	9,826	
	対前年比	%		100.8	100.1	105.0		
財源	一般財源	千円	9,243	9,317	9,336	9,799		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	27	28	21	27		

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	公演回数	回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	来場者数	人	目標	5,500	6,000	6,500	9,000
			実績	6,000	6,500	9,000	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	来場者がさらに増加し、史跡小牧山を広くPRでき、伝統芸能のよさを伝えることができた。			
		事業実施における課題	市外、県外からの来場者も多数あるが、小牧駅から小牧山までの動線がないのが現状である。小牧市や薪能の認知度をさらに高めるためにも関係団体と連携し、まちを活性化させる方策が必要である。			
		事業を縮小・廃止したときの影響	市制50周年記念として平成17年度から開始した薪能を継続的に開催することは、伝統芸能への理解を深める手段として小牧市では欠かすことができない事業となっており、廃止すればこれらの機能を果たすことができなくなる。			
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	市制60周年記念に因んで、オープニングセレモニーの内容を検討する。			
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)		
	判定理由	毎年、継続事業として定着しており市内外から好評を得ているため、さらに小牧市の誇りとなるよう充実させる。				
	27年度以降の改善案	引き続き、ラジオガイダンスにより目と耳で初心者向けのわかりやすい解説をして、市民が伝統芸能への関心をさらに深められるよう工夫するとともに、通訳ボランティアによる配布物の英訳や英語のガイダンスを行い、多文化共生を推進する。また、中学生による漫画ガイダンスを作成して中学生の伝統文化に対する興味や関心を高める。商工会議所や青年会議所等の外部団体や市の他部署と連携しながら小牧市の文化を盛り上げていく。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。